

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	上部消化管内視鏡検査における腫瘍発見率の向上に寄与する因子の同定に関する単施設後方視的研究 (B24-084)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院 消化器内科 教授 草野 央
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>上部内視鏡検査は上部消化管悪性腫瘍を早期に発見する方法として広く行われています。一方で上部内視鏡検査における偽陰性率は10~20%と報告され、病変の見逃し、病変に対する不十分なフォローアップ体制、前癌病変に対する不適切なモニタリング、新規腫瘍の発生など、様々な要因が関連しており、質の高い内視鏡検査を行うことが重要となります。しかし上部内視鏡検査における内視鏡の品質の指標についての報告はまだ少ないのが現状です。</p> <p>そのため本研究では、内視鏡検査システムを用いて、上部消化管内視鏡検査における腫瘍発見率の向上に寄与する因子を明らかにすることを目的としております。</p>
調査データ 該当期間	2018年4月1日から2023年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	北里大学病院において、2018年4月1日から2023年3月31日までに上部内視鏡検査を施行された患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	2018年4月1日から2023年3月31日までの内視鏡マネジメントシステム「ソレミオ キューブ」に記載されている内視鏡記録に関する情報を抽出します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究期間の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は消化器内科学研究費で賄われます。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができ</p>

	<p>ない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学病院 消化器内科 助教 担当者：久保田 陽（クボタ ヨウ） 電 話：042-778-8111</p>
備 考	